

(2) 学校での生活

①教科の好き嫌い

問21 次の教科は好きですか、きらいですか。

(とても好き、好き、どちらともいえない、きらい、とてもきらい から選択)

A <小学生> (家庭科は、小学5・6年生のみ)

a 国語 b 社会 c 算数 d 理科 e 音楽 f 図工 g 体育
h 家庭科 i 道徳 j 学級活動(学活) k 総合的な学習の時間 l 外国語活動

B <中学生>

a 国語 b 社会 c 数学 d 理科 e 音楽 f 美術 g 保健体育
h 技術・家庭 i 道徳 j 学級活動(学活) k 総合的な学習の時間 l 英語

※「総合的な学習の時間」は、平成15年度より追加

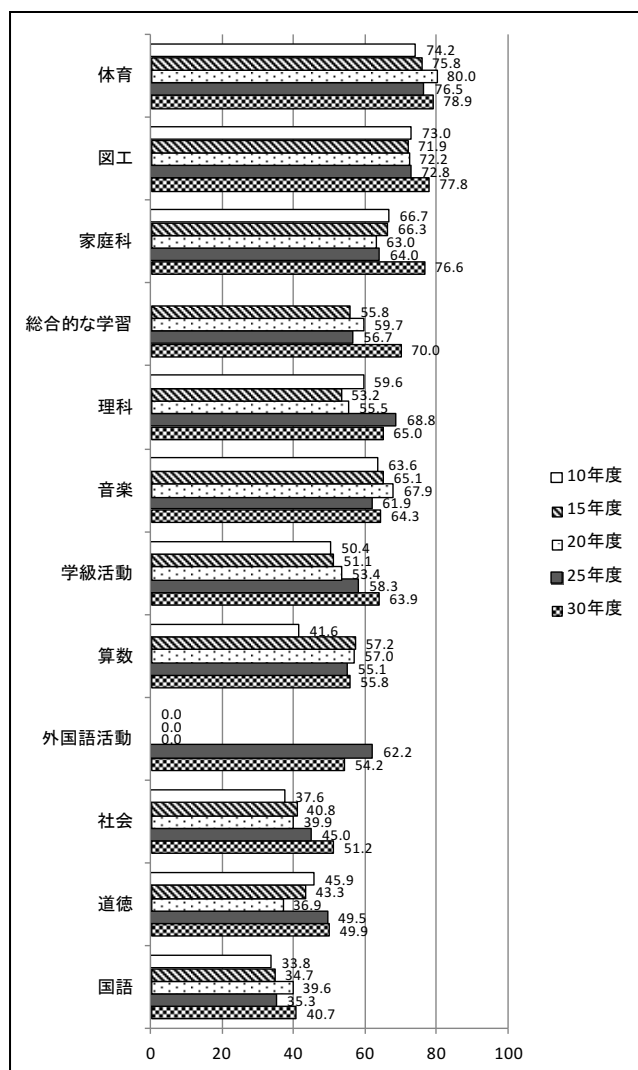
※小学生の「外国語活動」は、平成25年度より追加

※グラフは、「とても好き」「好き」を合わせたものである。

※小学生の家庭科では、小学4年生は除外してある。

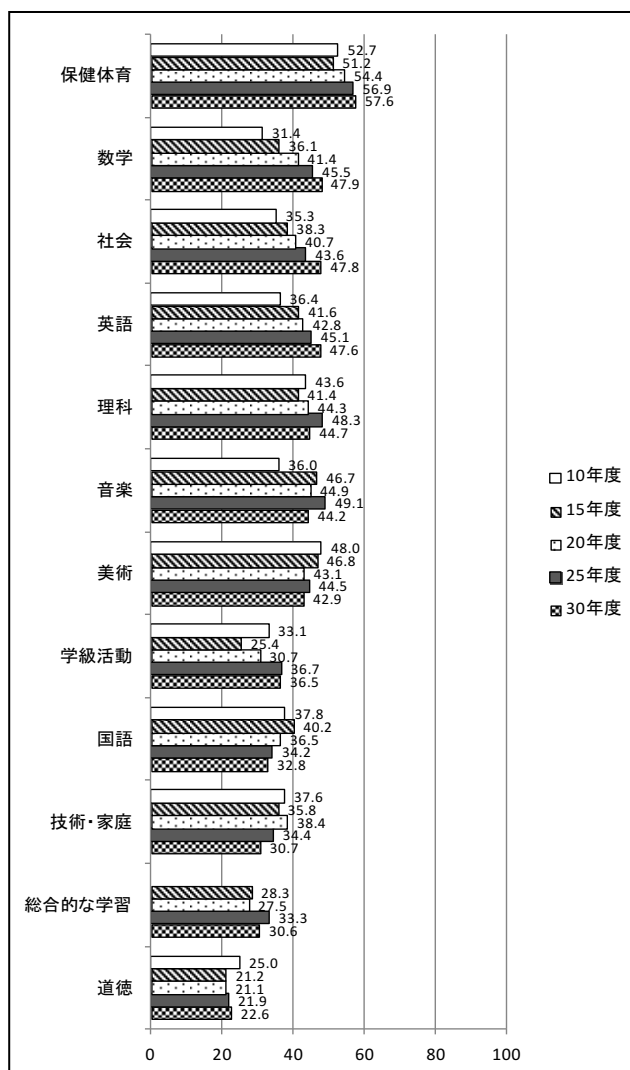
問21 好きな教科 (小学生)

<とても好き+好き>



問21 好きな教科 (中学生)

<とても好き+好き>



＜平成３０年度の結果＞

小学生では、「とても好き」「好き」の割合が多く、多くの教科で５割以上である。道徳と国語のみ、半分を下回っている。実技系の教科の方が「とても好き」「好き」の割合が高い。国語と算数の「とても嫌い」「嫌い」の割合は高く、２割以上である。（基礎集計参照）

中学生では、「とても好き」「好き」の割合が５割以上なのは、保健体育のみである。「とても嫌い」「嫌い」の割合が２割以上と高い教科は、国語・数学・理科・音楽・美術・技術家庭科・英語・道徳である。（基礎集計参照）また、小学生に比べ、中学生は「どちらともいえない」に多く回答しているので、「とても好き」「好き」の割合の生徒が減少している。

社会科以外のすべての教科で、小学生の「とても好き」「好き」の割合が、中学生よりも高いことが確認できた。^(*) 特にパーセンテージの減少の大きい教科は以下のものである。

	小学生	中学生	変化
理科	65.0%	44.7%	20.3%減少
音楽	64.3%	44.2%	20.1%減少
図画工作、美術	77.8%	42.9%	34.9%減少
体育、保健体育	78.9%	57.6%	21.3%減少
家庭科、技術家庭	76.6%	30.7%	45.9%減少
道徳	49.9%	22.6%	27.3%減少
総合的な学習の時間	70.0%	30.6%	39.4%減少
学級活動	63.9%	36.5%	27.4%減少

＜平成１０年度から３０年度を通しての変化＞

「とても好き」「好き」の割合がこの１０年で増加傾向にある教科は以下の通りである。^(*)

小学生：社会・道徳・学級活動

中学生：社会・数学・英語

また、平成２５年度と３０年度のみの比較ではあるが、小学生の外国語活動の「とても好き」「好き」が減少傾向にある。^(*)



②行事の楽しさ

問22 次の行事は楽しいですか。

(楽しい、どちらともいえない、楽しくない、参加したことがない から選択)

A <小学生>

a 遠足

b 修学旅行などの宿泊行事

c 運動会

d 学芸会 (学習発表会、音楽会等)

B <中学生>

a 泊をともしなわなない遠足

b 修学旅行などの宿泊行事

c 体育祭

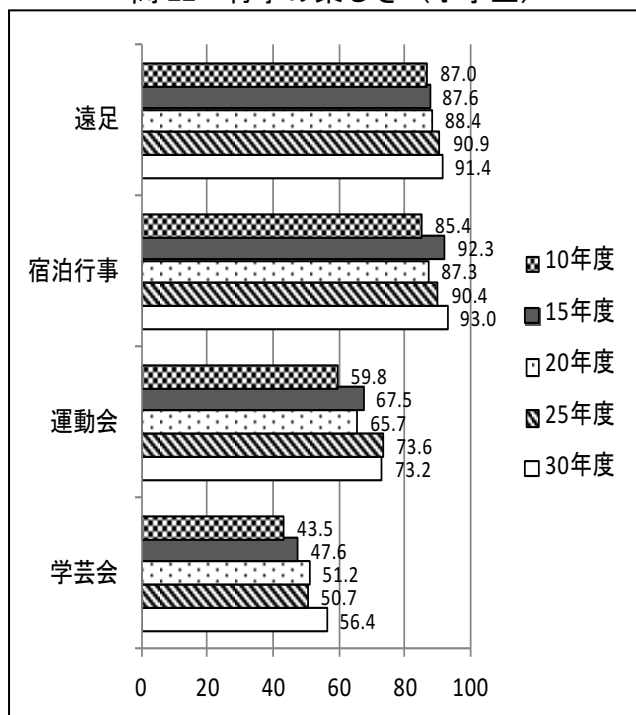
d 合唱コンクール (音楽祭)

※グラフの数値は、体験したことのある児童・生徒で「楽しい」と答えたものである。

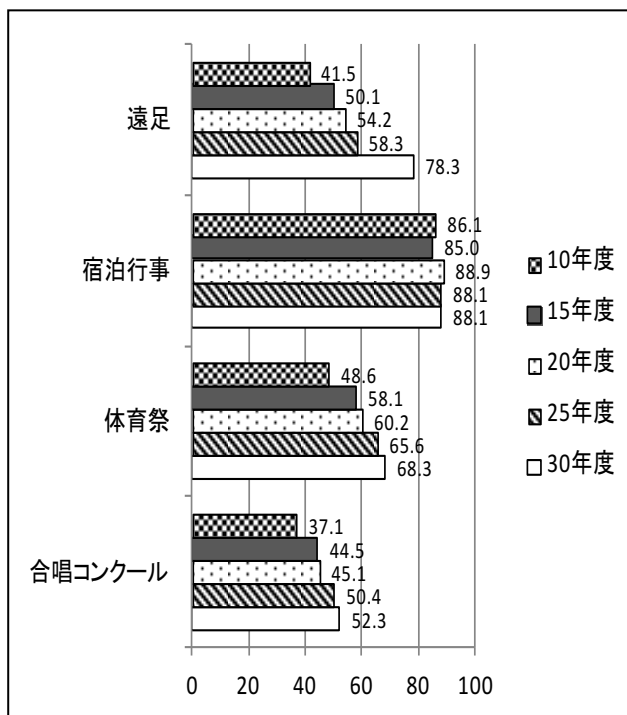
※小学生の「修学旅行などの宿泊行事」では、小学4年生は除外してある。

※中学生の「体育祭」「合唱コンクール (音楽祭)」では、調査時期にはまだ経験していないので中学一年生は除外してある。

問 22 行事の楽しさ (小学生)



問 22 行事の楽しさ (中学生)



<平成30年度の結果>

遠足において、小・中学生ともに「楽しい」の割合が高くなってきている。^(*) 特に中学生も「楽しい」の割合がかなり高くなった。宿泊学習においては、小・中学生ともに9割近くの子どもが「楽しい」と回答している。小学生の運動会では、「楽しい」の割合が7割強で、中学生の体育祭では、「楽しい」の割合が7割弱である。学芸会・合唱コンクールでは約半数の子どもたちが「楽しい」と回答している。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

中学生の「遠足が楽しい」と回答した割合は、年々増加傾向にある。^(*)

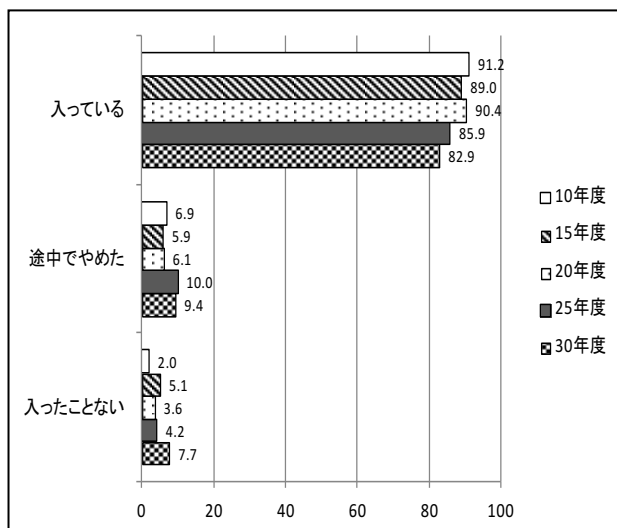
③部活動への参加状況と要望（中学生のみ）

問 3 9 部活動に入っていますか。

（2と答えた人はAを、1と答えた人はB～Fを答えてください。）

1. 入っている 2. 入っていたが今はやめた 3. 入ったことがない

問 39 部活動に入っているか



<平成30年度の結果>

部活動への加入率は8割以上である。途中でやめた生徒は、1割弱で、入ったことがない生徒は7.7%であった。

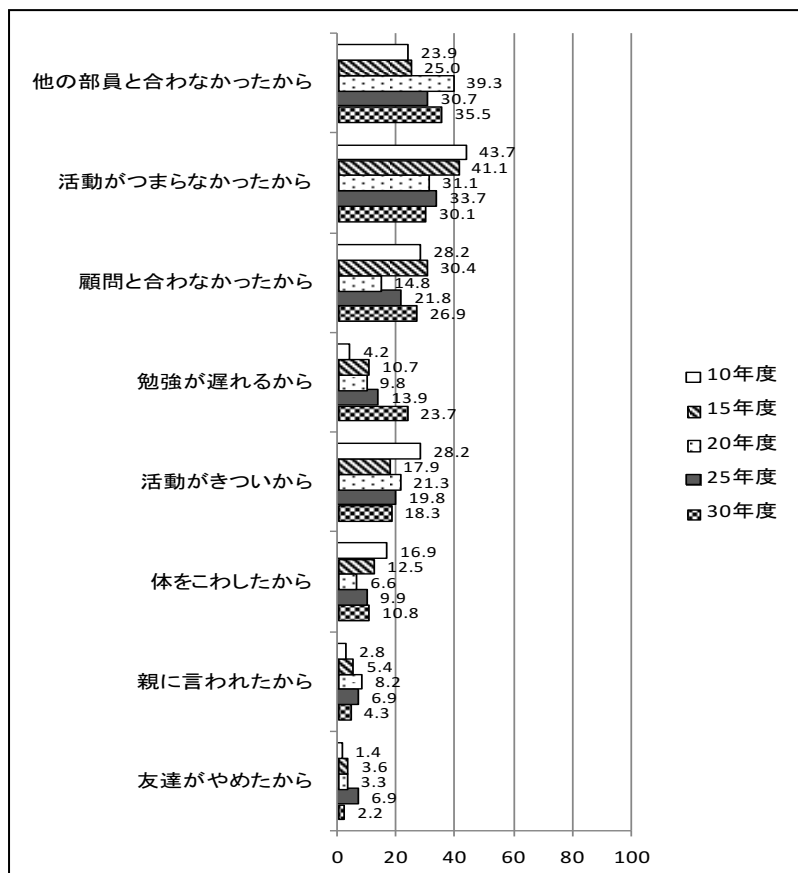
<平成10年度から30年度を通しての比較>

部活動に入っている生徒は、ここ10年で減少し、前回と比較すると、3ポイント減少した。

A やめたおもな理由は何ですか。（2つまで○）

- | | | |
|-------------|------------------|-----------------|
| 1. 勉強が遅れるから | 4. 体をこわしたから | 7. 顧問と合わなかったから |
| 2. 親に言われたから | 5. 友だちがやめたから | 8. 活動がつまらなかったから |
| 3. 活動がきついから | 6. 他の部員と合わなかったから | |

問 39 A 部活動をやめたおもな理由



<平成30年度の結果>

最も多い退部理由は「他の部員と合わなかったから」という人間関係の問題である。次いで「活動がつまらなかった」の回答が多いが、なぜつまらなくなったのかは調査できていない。人間関係の問題の可能性も捨てきれない。続いて「顧問と合わなかったから」という人間関係の問題であった。

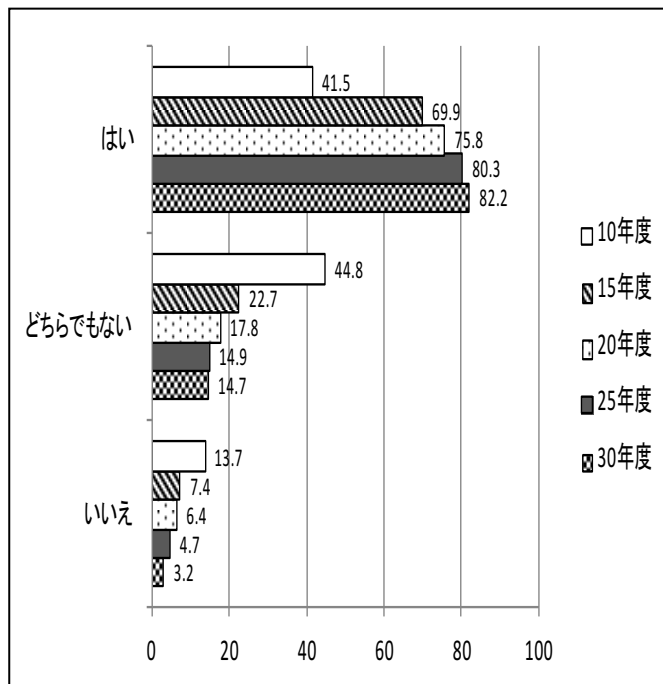
<平成10年度から30年度を通しての変化>

この10年で増加しているのは「顧問と合わなかったから」と「勉強が遅れるから」と「体をこわしたから」の3つである。特に増加傾向が多くみられるのは、「勉強が遅れるから」である。（*）

B 自分が入っている部の活動に積極的に参加していますか。

1. はい 2. どちらともいえない 3. いいえ

問 39 B 部活動に積極的に参加しているか



<平成30年度の結果>

部活動に積極的に参加していると回答している生徒の割合は、8割を超えている。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

積極的に参加している生徒は、調査開始時からずっと増加し続けている。「どちらでもない」「いいえ」と回答する生徒は減少している。

C 土曜日の活動はありますか。（大会や発表会等は除く）

1. はい 2. いいえ

D 日曜日の活動はありますか。（大会や発表会等は除く）

1. はい 2. いいえ

※グラフは、「はい」と答えたものである。

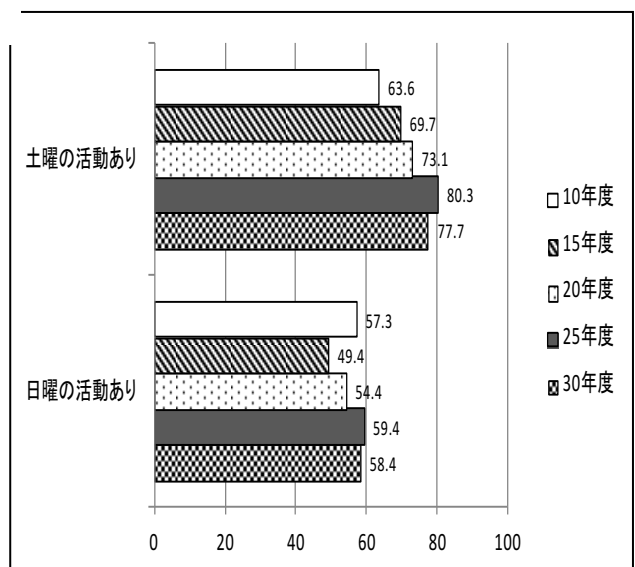
問 39 C D 土・日曜の活動〈はい〉

<平成30年度の結果>

土曜日に活動をしている部活動は、77.7%、日曜日は58.4%である。土曜日よりも、日曜日の活動の方が少ない。

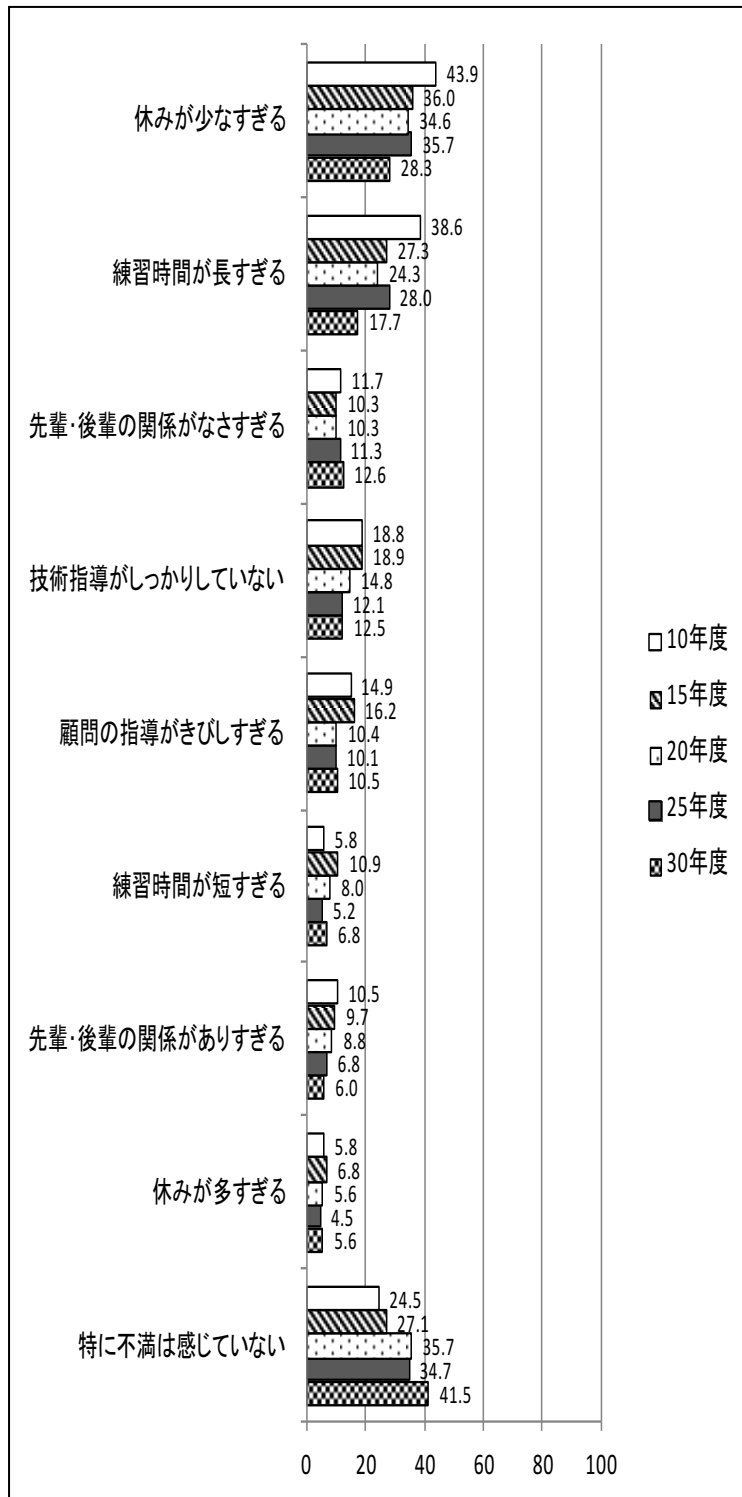
<平成10年度から30年度を通しての変化>

土・日曜日の活動とも、平成15年度の調査より、25年度までは増加傾向にあったが、本調査では両方とも減少した。(*)



- E 部活動で、不満を感じることは何ですか。（3つまで○）
- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 練習時間が長すぎる | 6. 先輩・後輩の関係がなさすぎる |
| 2. 練習時間が短すぎる | 7. 顧問の指導がきびしすぎる |
| 3. 休みが少なすぎる | 8. 技術指導がしっかりしていない |
| 4. 休みが多すぎる | 9. 特に不満は感じていない |
| 5. 先輩・後輩の関係がありすぎる | |

問 39 E 部活動で不満なこと

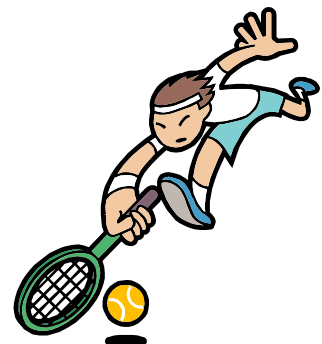


＜平成30年度の結果＞

「特に不満は感じていない」の回答が最も多い。不満として一番多いものは「休みが少なすぎる」、次いで「練習時間が長すぎる」である。両方とも練習に関する不満であり、先輩・後輩・顧問との人間関係よりも上回っている。

＜平成10年度から30年度を通しての変化＞

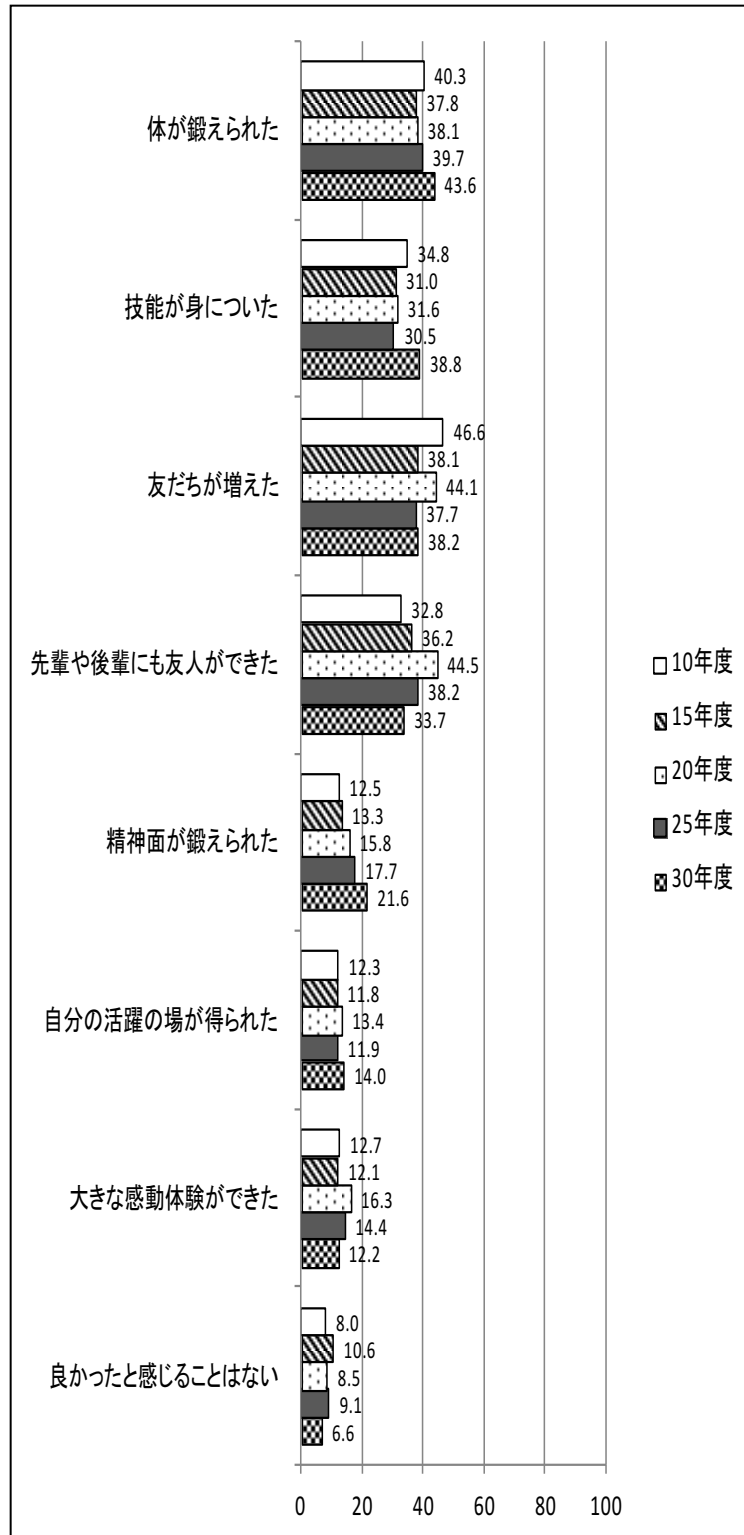
経年変化で見てみても、「特に不満を感じていない」の割合が増加している。20年間の各調査の中で、最も多い不満は継続して「休みが少なすぎる」である。次に多い不満も各調査とも継続して「練習時間が長すぎる」である。



F 部活動に入っていて、よかったと感じることは何ですか。（3つまで○）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 体が鍛えられた | 5. 先輩や後輩にも友人ができた |
| 2. 技能が身についた | 6. 自分の活躍の場が得られた |
| 3. 精神面が鍛えられた | 7. 大きな感動を体験できた |
| 4. 友だちが増えた | 8. よかったと感じることはない |

問 39 F 部活動で良いこと



<平成30年度の結果>

部活動に入って、よかったと感じることは、「体が鍛えられた」「技能が身についた」「友だちが増えた」「先輩や後輩にも友人ができた」の順で回答が多い。どれも30%を超える割合である。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

25年度から30年度にかけて、「技能が身についた」の回答が、8.3ポイント上がった。(*)

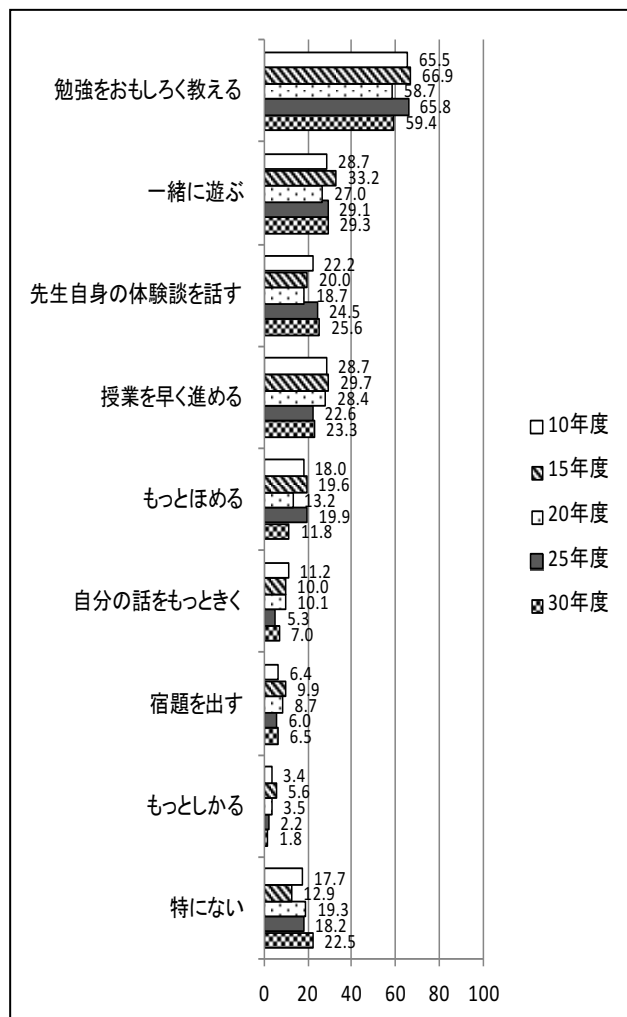
「精神面が鍛えられた」の回答では、3.9ポイント上がった。(*)

④教師への要望

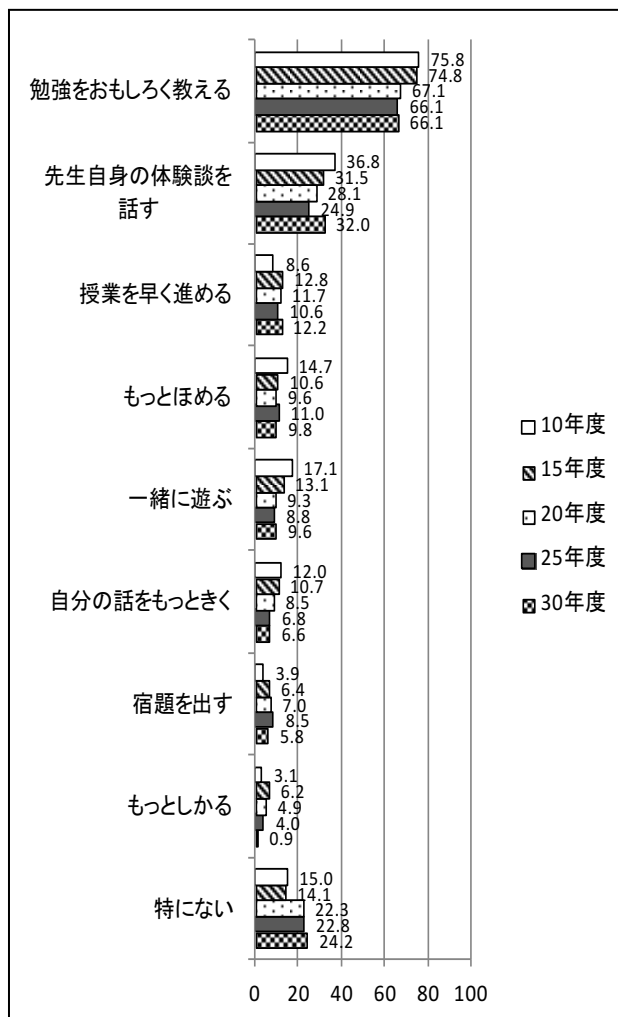
問 1 4 先生に、どんなことをしてほしいですか。（3つまで○）

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 勉強をおもしろく教える | 6. 授業を早く進める |
| 2. 自分の話をもっときく | 7. もっとしかる |
| 3. 一緒に遊ぶ | 8. もっとほめる |
| 4. 先生自身の体験談をもっと話す | 9. 特にない |
| 5. 宿題を出す | |

問 14 先生にしてほしいこと（小学生）



問 14 先生にしてほしいこと（中学生）



<平成30年度の結果>

小学生、中学生ともに、「勉強をおもしろく教える」が1位である。

小学生2位の「一緒に遊ぶ」は、中学生よりも高い割合で回答している。^(*) 中学生2位の「先生自身の体験談を話す」は小学生よりも高い割合で回答している。^(*)

小学生、中学生それぞれの求めているものが分かれているが、ともに「宿題を出す」と「もっとしかる」に回答している子どもは少ない。

<平成10年度から30年度を通しての変化>

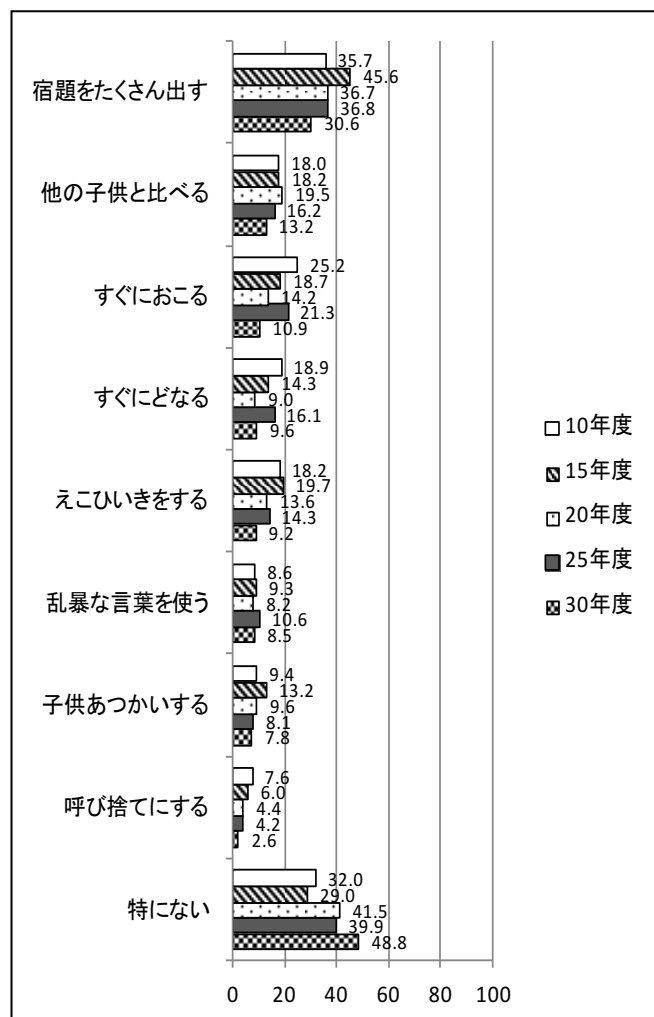
小学生、中学生ともに「特にない」が増加してきている。

小学生、中学生ともに「勉強をおもしろく教える」ことを望んでいることがわかる。

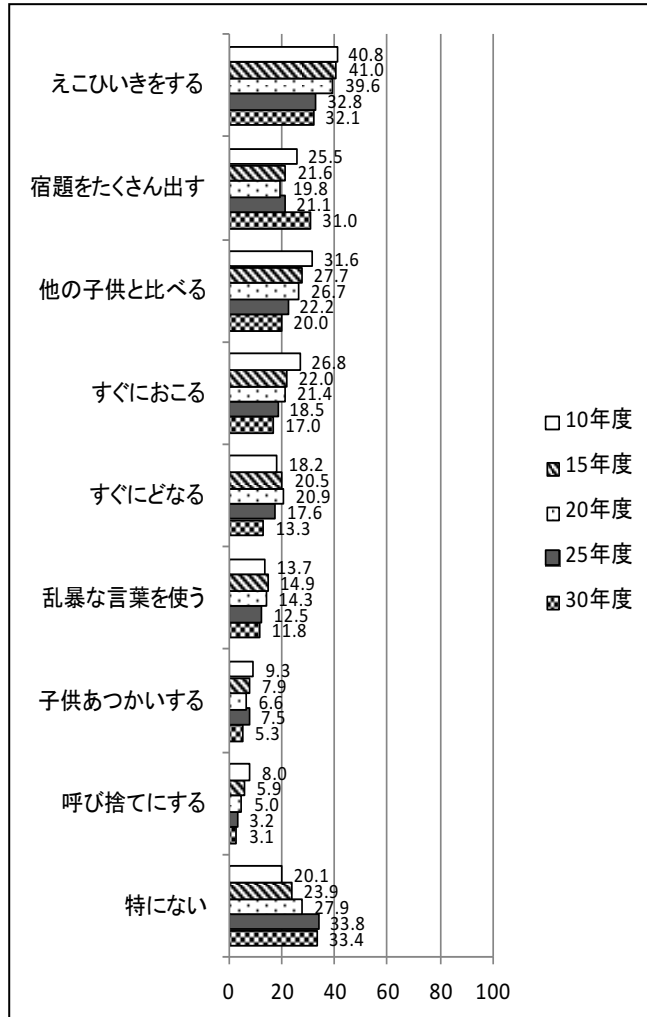
問 1 5 先生に、どんなことをやめてほしいですか。（3つまで○）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 子どもあつかいをする | 6. 呼び捨てにする |
| 2. えこひいきをする | 7. 乱暴な言葉を使う |
| 3. 宿題をたくさん出す | 8. ほかの子どもと比べる |
| 4. すぐにおこる | 9. 特にない |
| 5. すぐにどなる | |

問 15 先生にやめてほしいこと（小学生）



問 15 先生にやめてほしいこと（中学生）



<平成30年度の結果>

小・中学生ともに「特にない」と回答している割合が最も高い。小学生の方が中学生よりも高い割合である。(*)

小学生では、「宿題をたくさん出す」ことをやめてほしいという回答が最も多かった。中学生では、「えこひいきをする」ことをやめてほしいという回答が多く、小学生よりも高い割合で回答された。(*) また、「すぐにおこる」「すぐにどなる」「乱暴な言葉を使う」「他の子どもと比べる」も小学生よりも中学生の方が高い割合で回答していた。(*)

<平成10年度から30年度を通しての変化>

小学生での「すぐにおこる」「すぐにどなる」「乱暴な言葉を使う」は25年度の調査で増加したが、本調査では減少した。中学生での「宿題を出す」以外の項目は10年間で減少している。